

鳥取県における避難者支援

点から線へ、そして面へ・・・

とっとり震災支援連絡協議会 事務局長 福井正樹

はじめに

鳥取県における避難者データと「とっとり震災支援連絡協議会」の概要

- 避難者総数「205人88世帯」（24年11月現在）
 - 福島県からの避難者が最も多い（136人）
 - 鳥取市（県東部）に避難者が多い（125人）
 - 避難者同士のネットワーク希薄
-
- 2011年4月「とっとり東北県人会」が避難者支援を開始する
 - 2012年3月「とっとり東北県人会」「NPO法人KiRALi」「NPO法人田舎暮らし応援団」「任意団体まる」の4団体が協力して「協議会」を設立。その後、NPO法人ITサポート研究所」「鳥取郡山友の会」等の民間団体が協力。また、鳥取県避難者支援チームが協議会と連携する
 - 2012年10月 鳥取県知事と協議会との会談…県との連携



これまでの避難者へのアクション

- 定期的にお茶会（交流会）を開催
- 季節のイベントを開催（芋煮会・BBQ・クリスマス会等々）
- 必要物資の調達（細々と・・・）
- 就労の相談（個人レベルでの紹介）

とっとり震災支援連絡協議会主催 避難者交流のための

お茶会 in 中部



↑東部お茶会の様子



↑芋煮会

- ◆日 時 2012年8月5日 14時～17時
- ◆会 場 旧牧田家住宅（倉吉市東岩倉町）
- ◆参加方法 8/2(木)までに船山 rasp0106berry-maaaa@docomo.ne.jp
(電話 090-5846-2597・twitter @puna0106puna)までご連絡ください
- ◆当日の持ち物 自分の飲み物
- ◆内 容

まずはみんなで自己紹介♪持参した飲み物を飲みながら、避難生活での悩みや鳥取情報の交換、ふるさとへの思いなど、ざっくばらんにおしゃべりを楽しみましょう♪
鳥取県産梨材を使った積木で遊ぶコーナーや、子ども服・絵本・雑貨の無料バザーコーナーも設置します。おひとりでもご家族でも、お気軽にご参加ください（＾＾）

東日本大震災による避難者交流のための 2012芋煮会 開催します！

懐かしい、東北の味をみんなで楽しめませんか？

ボランティア
参加者募集中！

★会費：避難者→大人300円 一般→500円以上

(500円を超えた金額は、運営費・今後の活動費への寄付になります)

★メニュー：福島風芋煮(味噌味)、焼肉、焼きそば など

★持ち物(自分の分のみ)：主食になるもの(おにぎり、パン)、飲みもの、食器

日時と場所
9/30(日曜日)11時～15時

◎北栄町オートキャンプ場(予定)



こちらは、昨年の写真です。
50人が参加しました。
◎鳥取市内(2011.10.23)



代表・船山雅代
(福島市出身
・転勤族の妻)

申し込み先

メール→fukui@kirali.org(事務局 NPO 法人 KiLARi 担当:福井) 申込み切
9/25
電話→09058462597(代表:船山)ツイッター(@puna0106puna)もOK!

主催：とっとり荒祭支援連絡協議会 <https://www.facebook.com/tottori.sinsai.sien> (とっとり東北県人会・
NPO 法人 KiLARi・NPO 法人田舎暮らしの応援団・任意団体まる・あるがままぶろじょくと)



2012年

12月23日

12:00~16:00(開場11:30)

金吉市上瀬公民館

(鳥取県金吉市上瀬町9)

2012年12月20日

参加を希望の方は、申込み切りまでに
下記連絡先のいずれかへご連絡下さい。
お問い合わせ等で連絡の方は、その旨を明記下さい。



参加のお申込みは下記のいずれかへご連絡下さい！(金吉市上瀬公民館の方は、お申込みの際に記入下さい)

メール

fukui@krlall.org

(連絡時 NPO法人KRLA 佐藤:担当)

電話

090-4578-3852

(受付時間 金曜8:00~20:00 指定:無)

facebook

www.facebook.com/tottoriinsai.sien

避難者 **300円** ※税込 無料
一般 **1,000円** ※税込 無料

※税込、税抜・中の税込への変換となります。

* ジャグリング＆バルーンアートショー！

* みんなで楽しくお食事！

* サンタさんからプレゼント！

…こどもたちにもおととなたちにも！

* こどもたちには嬉しい「繪本よみきがけLIVE」

＆バルーンプレゼント！

会場へは無料バスが出ます！

島根の方 鳥取県庁前 10:30出発

米子の方 高畠総合事務所前 10:30出発

開催リザーブイベントの進行予定につきましては、

とっとり震災支援連絡協議会 の中期計画

支援体制を整備し強化する
行政との連携を深める
復興長期化を見据えた支援体制を構築する
全てをボランティアに依存しない
資金調達システムを構築する

現在の支援に係る課題

- * 支援が小グループに点在し、支援者同士の情報共有がない
- * 避難者のリアルタイムの情報やニーズが包括的に把握できていない
 - * 避難者へ鳥取で居住するための情報が充分に行きわたっていない
 - * 支援者のネットワークが構築されていない
 - * 被災地等から避難者を受け入れる積極的アクションがない
 - * 被災地で活動する NPO 等団体や県内の支援団体との連携が希薄

資金不足が大きな課題！

ファンドレイジン



* 支援活動をトータルに常時コーディネートする

* 避難者のニーズ（困りごと）をリアルタイムに集約し、ニーズに合致した支援策を講じる

* 県内の支援希望者をネットワーク化し、情報の交換共有を図る
* 県内の支援希望者への具体的支援アクションを提供する

* 避難者のネットワークを構築する

* 被災地で活動する NPO 等団体と連携する

* 被災地等からの避難者を積極的に受け入れるアクションを起こす

支援コーディネーター

支援コーディネーターの常勤雇用と養成
【24年12月からコーディネーター2名雇用予定／
25年3月から事務局マネージャー1名雇用予定】
*コーディネーターを養成し、様々な支援策を講じ
実施する。マネージャーはコーディネーター業務
をマネジメントする

コーディネーター養成の結果、継続的な支援が可能
になる

支援者ネットワークの構築

全県域にわたる支援者（支援希望者）の把握及び
ネットワークの構築

*情報交換会・必要物資の提供呼び掛け、集配・各種イベント等へ支援参加を促し支援者の輪を広げる。また、支援者同士の連絡調整会を開催する（2ヶ月に1回程度）】

支援者拡大による県民意識醸成及びファンドレイジングの充実

避難者ニーズの把握

避難者の情報を把握（集約）することで、避難者への情報のスムーズな提供等を可能にする（**戸別訪問**による聞き取り）

交流会・情報交換会（お茶会）の開催【上記の情報を活用し、東部・中部・西部において月に1回程度の情報交換会を開催する。】

情報交換会

情報交換会においてより具体的な避難者のニーズを把握する（戸別訪問による聞き取り）

避難者ニーズ（物心ともども）を広く集積し、そのニーズに従って支援を行う

【例えば、母子避難における一時里帰り希望（金銭的問題）／季節に応じた家電・衣服等々の不足／母子避難における子育ての行き詰まり／定住を目指す避難者の起業／住居／就労／教育 等々】

連携

他府県の避難者支援団体・被災地で活動する
団体等との**連携**

【支援コーディネーター等の現地訪問及び調整連絡会
の開催。その後、サマーキャンプの情報提供・募集・
運営の協力。被災地からの情報提供等を行う。】

サマーキャンプ

「鳥取体験サマーキャンプ」の開催

【智頭町内の廃校となった小学校を使用し、各自治体・地元団体・企業等と連携し、福島県を中心とした被災地等から子どもたちの心身の解放と「鳥取体験」を目的として4泊5日程度のキャンプを開催する】

【貸切バスによる送迎（福島県発着）・鳥取県内各所の訪問（鳥取市・倉吉市・琴浦町・大山町・米子市等）・地元小中学生との交流・地元大学生との交流等々。参加者は基本的に小学3年生～6年生（50名程度）とし、希望者は保護者同伴の元それ以下の年齢（未就学児童）も可能とする（保護者と子どもで50名程度を想定。小学生は無料、同伴保護者は交通費のみ実費負担】

【同時開催のイベントによる資金調達：音楽イベント等を開催し、地元の人たちにチケットを買ってもらいその一部を寄付として充当する】